

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県多摩警察署協議会
日 時	令和5年11月6日(月) 午後2時30分から午後4時40分までの間
場 所	神奈川県多摩警察署
出席者	<p>1 協議会側 会長 大津博之 副会長 原山修 石野明美 閑念文博 北原融 濃沼健夫 原篤晃 椎名毅 日高美香 森陽保 計10人</p> <p>2 警察署側 署長 植松宏文 副署長 笈貴弘 刑事兼生活安全担当次長 岩瀬大輔 警務課長 平山将史 留置管理課長 丸田耕三 会計課長 高野清昭 生活安全課長 千葉康弘 刑事課長 飯田勝義 交通課長 加藤宏司 警備課長 齋藤浩二 計10人</p> <p>3 傍聴者 神奈川県公安委員会委員長 堀本久美子</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	<p>自転車事故防止対策について</p> <p>1 答申</p> <p>(1) ながら運転の危険性や自転車は加害者にも被害者にもなり得るという注意喚起をもっとしてほしい。</p> <p>(2) 通勤時間帯の20代から40代の人に対する傘差し運転等へのマナーアップ運動をしてほしい。</p> <p>(3) 実効性のある時間帯にキャンペーンが実施できるよう検討してほしい。</p> <p>(4) インパクトのあるポスターや看板で自転車マナーについて周知してほしい。</p> <p>(5) 管内にある高校で行っている独自施策である自転車免許証制度を他の学校にも紹介してはどうか。</p> <p>2 措置結果</p> <p>(1) 各種キャンペーンや安全講話、高校の文化祭、指導取締り活動時のワンポイントアドバイスとして自転車運転者に、自転車事故の特徴やながら運転の危険性について注意喚起を行った。</p> <p>(2) 20代から40代の方たちの自転車安全利用を周知するため、管内企業において安全講話を実施した際、ヘルメットの着用のほか傘差し運転等について注意喚起を行った。</p> <p>(3) 登戸駅前、午前8時から午前9時までの間、自転車運転に関するキャンペーンを行った際、警察官の姿を見ると乱暴な運転を控える状況があったことから、今後も時間及び場所を考慮し、注意喚起を行う。</p> <p>(4) 現在、区内の公共施設に立て看板の設置について相談している。</p> <p>(5) 他校からも自発的に同種の取組みを提案してもらえるように、機会あるごとに、同校の取組を紹介していく。</p>
	諮問

災害対策について

答申

- 1 令和元年台風19号の際、フェイク情報が頻発し、避難所に車で来てしまう方が多く、避難所の交通整理が困難になったことがあったため、警察からも避難所の誘導員を出してほしい。
- 2 警察署が被災した際の代替施設の提携をしておいた方がいいと思う。
- 3 区民自身の自助努力について警察から注意喚起してほしい。
- 4 警察、役所、消防等の連携訓練についてどのようなことをしているか明確にし、災害情報を一本化できるようにしてほしい。
- 5 日中とは状況が変わるので、夜間の訓練もした方がいい。
- 6 風害及び火災に対する訓練も必要だと思う。

業務説明

前四半期（令和5年7月から9月までの間）の業務推進結果及び今四半期（令和5年10月から12月までの間）の業務推進重点について説明した。